

〈中部版スクラム教育事業〉令和8年度 夏季学力向上研修会

【日 時】 令和8年8月7日（金）

【対象者】 研究推進担当者、研究推進委員会メンバー（各校2名参加）

【ねらい】 中部地区小・中学校における課題及び「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業づくりについて理解を深め、教職員の授業力向上及び児童生徒の学力向上を図る。

【内 容】

- 「深い学び」における子どもと教師の具体的な姿のイメージの共有
- 自身の授業や校内の授業実践の振り返り
- 子どもの理解の程度やつまずきを正確に見取り、適切な支援へつなげる重要性
- 研修での学びを自校の教職員へ還元・提案する内容や方法等を具体化

【参加者の振り返りより】

- ◆「深い学び」について、グループでの活動を通して、他の先生の意見を聞き新たな考えが出るなど、新たな意見の創出、発見があり深い学びを実感することができた。
- ◆「深い学び」における具体的な児童の姿や、そのためにどのような授業を展開していけばいいのかを考えることができた。授業改善の視点をもって自校で伝えたい。
- ◆自分で考え続けることはもちろん、他者と考えを共有したことで、自分だけでは到達できなかった考えが出ることのよさを改めて学んだ。
- ◆見取りと支援について、研究授業だけではなく、日々の授業から行っていくことが大切だと感じた。
- ◆机間指導の中で、つまずきに対する支援や結果に対するフィードバックは行ってきたが、その場その場になることが多かった。事前に、児童がどこでつまずくのか、どんな誤答が予想されるかを教材研究の中でもっておくことで、適切な支援へと繋げていきたい。

